

精神医学

著書

- 1) 稲見康司, 堀口淳:(睡眠障害1)不眠症. 井上新平監修:精神科・神経科ナースの疾患別ケアハンドブック, メディカ出版, 大阪, pp112-115, 2005
- 2) 稲見康司, 堀口淳:(睡眠障害2)ナルコレプシー. 井上新平監修:精神科・神経科ナースの疾患別ケアハンドブック, メディカ出版, 大阪, pp116-117, 2005
- 3) 稲垣卓司:小児科とのコンサルテーションリエゾン・精神医学. 保坂隆編:精神科臨床 ニューアプローチ7 児童期精神障害, メジカルビュー社, 東京, pp141-146, 2005
- 4) 稲垣卓司:小児科とのコンサルテーション・リエゾン精神医学. 保坂隆編:精神科専門医にきく最新の臨床, 中外医学社, 東京, pp272-274, 2005
- 5) 妹尾晴夫, 堀口淳:高齢者の不安障害. 武田雅俊編:現代老年精神医療, 永井書店, pp515-521 2005
- 6) 堀口淳:レストレスレッグス症候群の見つけ方、治療のコツ. 上島国利編:睡眠障害診療のコツと落とし穴, 中山書店, 東京, pp28-29, 2006
- 7) 水野創一, 堀口淳:むずむず脚症候群. 上島国利編:精神科臨床ニューアプローチ8 睡眠障害・物質関連障害, メジカルレビュー社, 東京, pp136-138, 2006
- 8) 水野創一, 堀口淳:周期性四肢運動障害. 上島国利編:精神科臨床ニューアプローチ8, 睡眠障害・物質関連障害, メジカルレビュー社, 東京, pp139-141, 2006
- 9) 堀口淳:(精神医学用語一部分担). 南山堂医学大辞典, 第19版, 南山堂, 東京, 2006
- 10) 稲垣卓司:22 小児科系. 保坂隆編:これから始める向精神薬療法スペシャルテクニック, 診断と治療社, 東京, pp270-277, 2006

学術論文

- 1) Miyaoka T, Yasukawa R, Mizuno S, Sukegawa T, Inagaki T, Horiguchi J, Seno H, Oda K, Kitagaki H: Proton magnetic resonance spectroscopy (1H-MRS) of hippocampus, basal ganglia, and vermis of cerebellum in schizophrenia associated with idiopathic unconjugated hyperbilirubinemia (Gilbert's syndrome). Journal of Psychiatric Research 39:29-34, 2005
- 2) 稲垣卓司:(どう対応する?透析室の痴呆(認知症)患者)妄想, 見当識障害,

危険行為がある患者へのケア 精神科医の立場から考える ときには非定型抗精神病薬の使用も検討を. 透析ケア 11:148, 2005

- 3) 稲垣卓司:(どう対応する?透析室の痴呆(認知症)患者)セルフケア能力, 知的機能が低下した患者へのケア 精神科医の立場から考える 患者を認め,その生き方と心に沿ったケアを. 透析ケア 11:154, 2005
- 4) 宮岡剛, 堀口淳:(統合失調症の新しい治療の展望)抗精神病薬の長期投与に伴う錐体外路症状へ対策. 精神科治療学 20:117-124, 2005
- 5) 稲垣卓司: 学校教師に対するこころの健康教育授業と体験交流. 厚生科学研究費補助金障害保健福祉総合研究事業精神保健の健康教育に関する研究. 平成 16 年度総括・分担研究報告書:33-35, 2005
- 6) 藤田委由, 堀口淳, 木原勇夫, 金森勝徳: 中高齢者のメンタルヘルスに関する地域保健活動. 平成 16 年文部科学省地域貢献特別支援事業. 島根大学地域貢献特別支援事業報告書:51-55, 2005
- 7) 堀口淳, 水野創一:(分担研究報告)アルツハイマー型痴呆に対する塩酸ドネペジルの臨床的効果 - レム睡眠の変化を利用した治療反応性の予測 - . 厚生労働省 精神・神経精神疾患研究委託費 睡眠障害の診断・治療ガイドラインを用いた臨床的実証研究. 平成 14 年度～平成 16 年度総括研究報告書:133-136, 2005
- 8) 安川玲, 稲垣卓司, 佐伯はるか, 斎藤千都香, 堀口淳, 伊藤貴美子, 山口清次: 心因性咳嗽を呈した一卵性双生児姉妹例. 心療内科 9:147-151, 2005
- 9) 稲垣卓司, 宇谷悦子, 川向哲也, 安川玲, 安田英彰, 岡崎四方, 宮岡剛, 水野創一, 堀口淳: コンサルテーション・リエゾンにおける SSRI(選択的セロトニン再取込み阻害薬)の臨床応用. 脳と精神の医学 16:61-66, 2005
- 10) Mizuno S, Mihara T, Miyaoka T, Inagaki T, Horiguchi J: CSF iron ferritin and transferrin levels in restless legs syndrome. Journal of Sleep Research 14:43-47, 2005
- 11) 妹尾晴夫, 堀口淳:(第 3 回加齢とうつ)ライフイベントと高齢うつ病(心理的要因). Gerontology New Horizon 17: 261-266, 2005
- 12) 堀口淳:(老年者の捉え方)精神身体症状と薬物療法. 精神神経学雑誌 107:389-397, 2005
- 13) Miyaoka T, Yasukawa R, Yasuda H, Shimizu M, Mizuno S, Sukegawa T, Inagaki T, Horiguchi J: Urinary excretion of biopyrrins, oxidative metabolites of bilirubin, increases in patients with psychiatric disorders. European Neuropsychopharmacology 15:249-252, 2005
- 14) Miyaoka T, Yasukawa R, Mihara T, Mizuno S, Yasuda H, Sukegawa T, Shimizu M, Inagaki T, Horiguchi J: Fluid-attenuated inversion-recovery MR imaging in

- schizophrenia-associated with idiopathic unconjugated hyperbilirubinemia (Gilbert's syndrome). *European Psychiatry* 20:327-331, 2005
- 15) 助川鶴平, 柏木徹, 宮岡剛, 和気玲, 堀口淳:(私のカルテから)ペロスピロンにより幻覚妄想および抑うつ状態が軽快したパーキンソン病の1症例. *精神医学* 47:777-778, 2005
 - 16) 助川鶴平, 宇谷悦子, 堀口淳:(器質性および身体疾患による精神障害)薬剤起因性精神疾患. *精神科* 7:32-36, 2005
 - 17) Mizuno S, Miyaoka T, Inagaki T, Horiguchi J: Prevalence of restless legs syndrome in non-institutionalized Japanese elderly. *Psychiatry and Clinical Neurosciences* 59:461-465, 2005
 - 18) 田村達辞, 宇谷悦子, 堀口淳:(「うつ病」か「痴呆症(認知症)」か?)うつ病と痴呆症の鑑別診断の困難さ. *精神科治療学* 20:893-897, 2005
 - 19) 稲見康司, 佐々木朗, 三宅香, 宮岡剛, 堀口淳:同時発症と考えられたSESA (sub acute encephalopathy with epileptic seizures in chronic alcoholism) 症候群の姉妹例. *愛媛労災病院医学雑誌* 2:17-20, 2005
 - 20) 宇谷悦子, 川向哲也, 西村佐和子, 新野秀人, 堀口淳:((4)器質性不安障害6)脳損傷, 脳機能不全および身体疾患による他の精神障害)第1章 症状性を含む器質性精神障害(新精神科治療ガイドライン). *精神科治療学* 20(増):48-49, 2005
 - 21) 稲垣卓司, 川向哲也, 宇谷悦子, 堀口淳:((13)持続性身体表現性疼痛障害6)脳機能不全および身体疾患による他の精神障害)第5章 神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害(新精神科治療ガイドライン). *精神科治療学* 20(増):192-193, 2005
 - 22) Yasukawa R, Miyaoka T, Mizuno S, Inagaki T, Horiguchi J, Oda K, Kitagaki H: Proton magnetic resonance spectroscopy of the anterior cingulate gyrus, insular cortex and thalamus in schizophrenia associated with idiopathic unconjugated hyperbilirubinemia (Gilbert's syndrome). *Journal of Psychiatry and Neuroscience* 30:416-422, 2005
 - 23) 堀口淳:エチゾラムからゾルピデムへの切り替えにより睡眠障害患者のふらつきが消失した1症例. *Pharma Medica* 23:112-114, 2005
 - 24) 宇谷悦子, 宮岡剛, 川向哲也, 岡崎四方, 安田英彰, 安川玲, 新野秀人, 佐藤勝, 佐藤勝, 稲垣卓司, 堀口淳:せん妄発現時に血清 IL-2 受容体濃度の上昇を認めた老年期うつ病の1症例. *精神科* 7: 546-548, 2005
 - 25) 安川玲, 稲垣卓司, 安田英彰, 宮岡剛, 堀口淳:脳梗塞後に病的泣きを認めた1症例. *精神医学* 48:195-197, 2006
 - 26) 堀口淳, 川向哲也, 宇谷悦子, 宮岡剛, 新野秀人, 稲垣卓司, 妹尾晴夫, 清水

- 予旨子, 柴田昌洋, 山森周子, 藤本晶彦, 西松央一, 國重和彦: 精神科領域における消化器症状に対する mosapride citrate 併用の有用性の検討. 精神科治療学 21: 307-312, 2006
- 27) 堀口淳, 新野秀人, 宇谷悦子, 田村達辞: (うつ病と痴呆の合併症例を考える 鑑別) 症状特徴から診たうつと痴呆の鑑別. 分子精神医学 6:209-211, 2006
- 28) 堀口淳: (精神科病院における作業療法) 急性期統合失調症患者に対する個人精神療法としての「作業あるいは作業療法」. 日本精神科病院協会雑誌 25:69-73, 2006
- 29) 水野創一, 新野秀人, 堀口淳: むずむず脚症候群・周期性四肢運動障害の診断と治療. 最新精神医学 11:433-437, 2006
- 30) Inagaki T, Yasukawa R, Okazaki S, Yasuda H, Kawamukai T, Utani E, Hayashida M, Mizuno S, Miyaoka T, Shinno H, Horiguchi J: Factors disturbing treatment for cancer in patients with schizophrenia. Psychiatry and Clinical Neurosciences. 60:327-331, 2006
- 31) 日域広昭, 堀口淳: 水中毒の治療. Current Therapy 24:647-648, 2006
- 32) 辻誠一, 堀口淳: 攻撃性の薬物療法. 精神科治療学 24:923-928, 2006
- 33) Shinno H, Hikasa S, Matsuoka T, Fujita H, Yamamoto O, Takebayashi M, Uchida Y, Nishiura T, Horiguchi J.: Three patients with hemophagocytic syndrome who developed acute organic brain syndrome. General Hospital Psychiatry 28:455-457, 2006.09-10
- 34) 堀口淳: 身体表現性障害の診断と治療. 精神神経学雑誌 108:1104-1108, 2006
- 35) 新野秀人, 稲垣卓司, 宮岡剛, 岡崎四方, 宇谷悦子, 川向哲也, 佐藤勝, 稲見康司, 堀口淳: 出雲プロジェクト 島根大学医学部附属病院精神科神経科での「もの忘れ外来」の診療状況について. 老年精神医学雑誌 17:1319-1325, 2006
- 36) 河野公範, 小割健太郎, 宇谷悦子, 川向哲也, 安田英彰, 岡崎四方, 三原卓巳, 新野秀人, 宮岡剛, 稲垣卓司, 堀口淳: 光療法が開始早期から著効した高校生の DSPS の 1 例. 精神科 9:542-546, 2006.12

学会発表

- 1) 堀口淳: 各科領域における痛みに対するアプローチ - 心身医療学的アプローチを中心に -. 第 5 回島根心身医療研究会 (講演). 出雲, 2005 年 1 月
- 2) 稲垣卓司: 平田市立病院精神科外来状況. 島根県精神科医懇話会 1 月例会. 出雲, 2005 年 1 月

- 3) 堀口淳: 眠れないあなたのために. 市民公開講座「すこやかな生活のために、よりよい睡眠を」(講演). 米子, 2005年1月
- 4) 稲垣卓司: 思春期のこころとからだ - 思春期外来の現場から -. 平成16年度浜田市学校保健講演会(講演). 浜田, 2005年1月
- 5) 堀口淳: 物忘れや不眠症. 出雲市四絡コミュニティセンター文化部講演会(講演). 出雲, 2005年2月
- 6) 堀口淳: 眠れないあなたのために. 市民公開講座「すこやかな生活のために、よりよい睡眠を」(講演). 松江, 2005年2月
- 7) 堀口淳: 老人の痴呆と対応法. 全国痴呆高齢者グループホーム協会広島県支部講演会(講演). 広島, 2005年3月
- 8) 堀口淳: 最近の精神科診察室事情 - 不眠・うつ・心身症 -. 三協アルミニウム工業株式会社合同講演会(講演). 大阪, 2005年3月
- 9) 堀口淳: 抗精神病薬の副作用とその対策. 第6回奈良精神科薬物療法研究会(講演). 奈良, 2005年4月
- 10) 稲垣卓司: 緩和ケアにおける精神療法. 島根大学医学部緩和ケアセミナー(講演). 出雲, 2005年5月
- 11) 堀口淳: 知っておきたい抗精神病薬の副作用とその対策. 第3回四国PPST研究会(講演). 徳島, 2005年5月
- 12) 堀口淳: 不眠の治療と日常生活. 第10回地域生活支援センターふたば講演会(講演). 呉, 2005年5月
- 13) 宮岡剛: 統合失調症の病因と病態に対する非抱合型ビリルビンの関与についての臨床研究. 第32回日本脳科学会(シンポジウム講演). 千葉, 2005年6月
- 14) 水野創一, 塚田淳也, 堀口淳: アルツハイマー型痴呆に対する塩酸ドネペジルの臨床効果レム睡眠の変化を利用した治療反応性の予測. 日本睡眠学会第30回定期学術集会. 宇都宮, 2005年6月
- 15) 松本貴久, 水野創一, 塚田淳也, 稲見康司, 堀口淳: 健康被検者におけるリスペリドン投与時の睡眠構造の変化. 日本睡眠学会第30回定期学術集会. 宇都宮, 2005年6月
- 16) 塚田淳也, 水野創一, 堀口淳, 稲見康司: 塩酸ドネペジルがアルツハイマー型痴呆症患者の睡眠に及ぼす効果について: アクチグラフを用いた検討. 日本睡眠学会第30回定期学術集会. 宇都宮, 2005年6月
- 17) 宮岡剛, 安川玲, 安田英彰, 林田麻衣子, 水野創一, 稲垣卓司, 堀口淳: 統合失調症患者の尿中ビリルビン酸化代謝物(バイオピリン)の動態に関する検討. 第35回日本神経精神薬理学会, 第27回日本生物学的精神医学会合同年会. 大阪, 2005年7月

- 18) 宮岡剛, 安川玲, 安田英彰, 林田麻衣子, 水野創一, 稲垣卓司, 堀口淳: 特発性非抱合型高ビリルビン血症 (Gilbert 症候群) を合併する統合失調症における臨床経過に関する検討. 第 35 回日本神経精神薬理学会, 第 27 回日本生物学的精神医学会 合同年会. 大阪, 2005 年 7 月
- 19) 安川玲, 宮岡剛, 安田英彰, 林田麻衣子, 水野創一, 稲垣卓司, 堀口淳, 小田一成, 北垣一: 特発性非抱合型高ビリルビン血症 (Gilbert 症候群) を合併する統合失調症における 1H-MRS 所見. 第 35 回日本神経精神薬理学会, 第 27 回日本生物学的精神医学会 合同年会. 大阪, 2005 年 7 月
- 20) 安川玲, 稲垣卓司, 堀口淳: 病的泣きを認めた一症例. 第 53 回山陰精神神経学会. 出雲, 2005 年 7 月
- 21) 宇谷悦子, 宮岡剛, 川向哲也, 岡崎四方, 安田英彰, 安川玲, 佐藤勝, 水野創一, 稲垣卓司, 堀口淳: せん妄発現時に血清 IL-2 受容体濃度の上昇を認めた老年期うつ病の 1 症例. 第 53 回山陰精神神経学会. 出雲, 2005 年 7 月
- 22) 稲垣卓司, 宇谷悦子, 川向哲也, 安田英彰, 岡崎四方, 安川玲, 佐藤勝, 水野創一, 宮岡剛, 堀口淳: 単科精神病院におけるがんを合併する統合失調症患者状況について. 第 53 回山陰精神神経学会. 出雲, 2005 年 7 月
- 23) 川向哲也, 宇谷悦子, 堀口淳, 松本貴久, 古賀五之, 西川正: 29 年間の長期入院の後, 退院が可能となった統合失調症の 1 例. 第 53 回山陰精神神経学会. 出雲, 2005 年 7 月
- 24) 堀口淳: せん妄の治療とケア. 第 2 回 KMU リエゾン研究会 (講演). 大阪, 2005 年 8 月
- 25) 堀口淳: 睡眠について. 第 35 回中国・四国大学保健管理研究集会 (教育講演). 松江, 2005 年 8 月
- 26) 堀口淳: 抗精神薬による副作用の診たて. 第 25 回日本精神科診断学会 (教育セミナー講演). 新潟, 2005 年 9 月
- 27) 堀口淳: 睡眠障害とは. 島根県看護協会産業看護研修会 (講演). 松江, 2005 年 9 月
- 28) 堀口淳: 精神科薬物療法と睡眠障害の臨床. - SDA 研究会中間報告も含めて - 徳島県精神病院協会学術講演会 (講演). 徳島, 2005 年 9 月
- 29) 堀口淳: 鑑別: 症状特徴から診たうつと痴呆の鑑別. 「うつ病と痴呆の合併症例を考える」(シンポジウム) 第 7 回感情・行動・認知研究会 (ABC 研究会). 大阪, 2005 年 10 月
- 30) 宮岡剛, 安川玲, 安田英彰, 林田麻衣子, 稲垣卓司, 堀口淳: 統合失調症患者の尿中ビリルビン酸化代謝物 (バイオピリン) の動態に関する検討. 第 15 回日本臨床精神神経薬理学会. 東京, 2005 年 10 月
- 31) 川向哲也, 宮岡剛, 宇谷悦子, 安田英彰, 岡崎四方, 安川玲, 佐藤勝, 稲垣卓

- 司, 堀口淳: 修正型電気痙攣法におけるヒト脳性ナトリウム利尿ペプチドの血中動態の変化に関する検討. 第 46 回中国・四国精神神経学会. 松山, 2005 年 10 月
- 32) Horiguchi J, Mizuno S, Miyaoka T, Yasukawa R, Inagaki T, Sukegawa T: Insomnia: Epidemiology, Characteristics, and Consequences in the Elderly. 5th Annual Meeting International College of Geriatric Psychoneuropharmacology.(シンポジウム) Pittsburgh (PA USA), November, 2005
- 33) 宮岡剛, 安川玲, 安田英彰, 林田麻衣子, 川向哲也, 宇谷悦子, 岡崎四方, 佐藤勝, 稲垣卓司, 堀口淳: 塩酸ミノサイクリンが奏効した統合失調症の 2 症例. 第 10 回日本神経精神医学会. 東京, 2005 年 11 月
- 34) 稲垣卓司: 身体疾患の精神療法小児の場合 コンサルテーション・リエゾンの立場から (シンポジウム). 第 18 回日本総合病院精神医学会. 松江, 2005 年 11 月
- 35) 堀口淳: 「ぼけ」のメカニズム. 第 15 回かわにし市ヘルストーク (講演). 川西, 2005 年 12 月
- 36) 堀口淳: 認知症の予防. 雲南市介護予防教室 (講演). 雲南, 2005 年 12 月
- 37) 稲垣卓司: 対人恐怖症について. 平成 17 年度松江地区高等学校保健会養護教諭研修会 (講演). 安来, 2005 年 12 月
- 38) 宮岡剛: 心身症について. あさひクリニック公開講座 (講演). 出雲, 2005 年 12 月
- 39) 堀口淳: 眠れないあなたのために. 平成 17 年度高浜女性学級健康講演会 (講演). 出雲, 2005 年 12 月
- 40) 堀口淳: 認知症の予防について. 雲南市介護予防教室 (講演). 雲南, 2006 年 2 月
- 41) 稲垣卓司: こどものこころとからだ. - 思春期外来の臨床から見えるもの - 北部地区「豊かな子どもが育つスクラムの会」学校部会教育講演会 (講演). 出雲, 2006 年 2 月
- 42) 安田英彰: メンタルヘルスの現状と対策. 島根富士通メンタルヘルス講話 (講演). 斐川, 2006 年 2 月
- 43) 安川玲: 子どもの心と病について. あさひクリニック公開講座 (講演). 出雲, 2006 年 2 月
- 44) 堀口淳: 良性と悪性のもの忘れ - 最近の精神科診察室の風景から -. 第 12 回地域生活支援センターふたば講演会 (講演). 呉, 2006 年 3 月
- 45) 堀口淳: 睡眠について. 愛媛労災病院教育セミナー (講演). 新居浜, 2006 年 3 月
- 46) 稲垣卓司: こどものこころの理解のために. 松徳学院中学校高等学校校内研

- 修会（講演）. 松江, 2006年3月
- 47) 堀口淳: 認知症の発見方法とケア技術. 認知症勉強会(講演). 出雲, 2006年4月
 - 48) 宮岡剛: 大学病院における RISOS 使用経験 . 第1回 Risperidone Oral Solution Meeting (講演). 出雲, 2006年4月
 - 49) 堀口淳: うつと痴呆の症候学的な鑑別法について. 第17回山口県うつ病治療研究会(講演). 山口, 2006年4月
 - 50) 野間陽子, 日笠哲, 松岡龍雄, 旭修司, 中野哲子, 藤田康幸, 新野秀人, 竹林実: 水中毒の発症に褐色細胞腫の関与が疑われた統合失調症の一例. 第102回日本精神神経学会総会. 福岡, 2006年5月
 - 51) 堀口淳: 抗精神病薬誘発性錐体外路症状とその対策. 愛媛大学医学部神経精神医学講座同門会(教育講演). 松山, 2006年5月
 - 52) 宮岡剛, 安川玲, 安田英彰, 林田麻衣子, 稲垣卓司, 堀口淳: 統合失調症患者の尿中ビリルビン酸化代謝物(バイオピリン)の動態に関する検討. 第33回日本脳科学会. 旭川, 2006年6月
 - 53) 堀口淳: 高齢者のうつと痴呆の症候学的鑑別. 福岡大学医学部精神医学教室研究会(講演). 福岡, 2006年6月
 - 54) 稲垣卓司: 難病とどう向き合って生きるか. 平成18年度倶楽部UCD医療講演会(講演). 出雲, 2006年6月
 - 55) 塚田淳也, 水野創一, 稲見康司, 堀口淳, 西村良二: 塩酸ドネペジルがアルツハイマー型認知症患者の睡眠に及ぼす効果について: アクチグラムを用いた検討. 日本睡眠学会第31回定期学術集会. 大津, 2006年6月
 - 56) 新野秀人, 稲垣卓司, 宮岡剛, 宇谷悦子, 川向哲也, 稲見康司, 堀口淳: 島根大学医学部附属病院精神科神経科での「もの忘れ外来」の診療状況について. 第21回日本老年精神医学会. 東京, 2006年6月
 - 57) 三原卓巳, 宇谷悦子, 川向哲也, 安田英彰, 岡崎四方, 新野秀人, 宮岡剛, 稲垣卓司, 太神尚士, 川内秀之, 堀口淳: 疼痛性障害が疑われたが、後に器質的異常が発見されたうつ病の一例. 第54回山陰精神神経学会. 米子, 2006年7月
 - 58) 稲垣卓司, 安川玲, 斎藤千都香, 高野由美子, 波多野玲奈, 堀口淳: 島根大学医学部精神科思春期外来の現状について. 第54回山陰精神神経学会. 米子, 2006年7月
 - 59) 斎藤千都香, 稲垣卓司, 堀口淳: コラージュ療法が奏功した思春期適応障害の一例. 第54回山陰精神神経学会. 米子, 2006年7月
 - 60) 川向哲也, 安田英彰, 宇谷悦子, 岡崎四方, 宮岡剛, 稲垣卓司, 堀口淳: 修正型電気痙攣療法におけるヒト脳性ナトリウム利尿ペプチドの血中動態の変

- 化に関する検討. 第 54 回山陰精神神経学会. 米子, 2006 年 7 月
- 61) 新野秀人: 呉医療センター精神科での身体合併症治療について. 第 56 回日本病院学会(ワークショップ). 岡山, 2006 年 7 月
- 62) 堀口淳, 清水徹男: 後期研修者の受け入れ状況とその対策. 平成 18 年精神医学講座担当者会議年次集会(シンポジウム). 青森, 2006 年 8 月
- 63) 稲垣卓司: 思春期のこころとからだ. あさひクリニック講演会(講演). 出雲, 2006 年 9 月
- 64) 宮岡剛, 堀口淳: Gilbert 症候群を合併した緊張型統合失調症の 1 症例. Dr. Florence Thibaut Speaker Tour(講演). 出雲, 2006 年 9 月
- 65) 宮岡剛, 安川玲, 安田英彰, 林田麻衣子, 新野秀人, 稲垣卓司, 堀口淳: 塩酸ミノサイクリンの統合失調症治療における増強効果についての検討. 第 28 回日本生物学的精神医学会, 名古屋, 2006 年 9 月
- 66) Mizuno S, Horiguchi J: The Prediction of long-term response of donepezil using the change of REM sleep on AD patients. The 6th Annual Meeting of International College of Geriatric Psychoneuropharmacology. Hiroshima Japan, October, 2006
- 67) Tsukada J, Mizuno S, Inami K, Nishimura R, Horiguchi J: Effect of donepezil on sleep and activity in Alzheimer's disease: actigraphic assessment. The 6th Annual Meeting of International College of Geriatric Psychoneuropharmacology. Hiroshima Japan, October, 2006
- 68) Miyaoka T, Yasukawa R, Yoshida H, Hayashida M, Shinno H, Inagaki T, Horiguchi J: Possible antipsychotic effects of minocycline in patients with schizophrenia. The 6th Annual Meeting of International College of Geriatric Psychoneuropharmacology. Hiroshima Japan, October, 2006
- 69) Shinno H, Matsuoka T, Yamamoto O, Noma Y, Hikasa S, Takebayashi M, Horiguchi J: Successful treatment with atypical neuroleptics for delirium in terminally-ill cancer patients. The 6th Annual Meeting of International College of Geriatric Psychoneuropharmacology. Hiroshima Japan, October, 2006
- 70) Shinno H, Inagaki T, Miyaoka T, Utani E, Kawamukai T, Inami Y, Horiguchi J: Behavioral and psychological symptoms and cognitive decline in patients with dementia are differently related to neurochemical and neuropsychological pathology. 36th Annual Meeting of Society for Neuroscience. Atlanta (U.S.A.), October, 2006
- 71) 稲垣卓司, 安川玲: 不登校生徒の通信制高校適応状況の検討. 第 47 回日本児童青年期精神医学会総会. 千葉, 2006 年 10 月
- 72) 河野公範, 小割健太郎, 宮岡剛, 新野秀人, 稲垣卓司, 堀口淳: 高照度光療法

- が著効した DSPS の 1 例. 第 1 回中四国睡眠医療研究会. 広島, 2006 年 10 月
- 73) 宮岡剛, 岡崎四方, 安川玲, 安田英彰, 林田麻衣子, 稲垣卓司, 堀口淳: 低用量のリスペリドンの投与により遅発性ジストニアを生じた 2 症例. 第 16 回日本臨床精神神経薬理学会. 小倉, 2006 年 10 月
- 74) 堀口淳: うつ病の治療・再考. ジェイゾロフト錠発売記念学術講演会(講演). 出雲, 2006 年 10 月
- 75) 堀口淳: 認知症の捉え方と介護・看護の工夫. 医療法人社団和恒会地域生活支援センターふたば講演会(講演). 呉, 2006 年 10 月
- 76) 稲垣卓司, 安川玲, 斎藤千都香, 堀口淳, 四本由郁, 金井理恵, 岸和子, 瀬島齊, 山口清次: 小児科入院中の神経性無食欲症患者へのコンサルテーション活動について. 第 30 回日本心身医学会中国・四国地方会. 出雲, 2006 年 11 月
- 77) 河野公範, 小割健太郎, 新野秀人, 稲垣卓司, 堀口淳: 高照度光療法が早期より著効した DSPS の一例. 第 30 回日本心身医学会中国・四国地方会. 出雲, 2006 年 11 月
- 78) 小割健太郎, 三原卓巳, 川向哲也, 河野公範, 宮岡剛, 新野秀人, 稲垣卓司, 堀口淳: m-ECT が有効であった緊張型統合失調症の 1 例. 第 30 回日本心身医学会中国・四国地方会. 出雲, 2006 年 11 月
- 79) 上垣淳, 岡田和悟, 堀口淳: 総合病院内の無床精神科の活動の現状—大田市立病院における現状調査から—. 第 30 回日本心身医学会中国・四国地方会. 出雲, 2006 年 11 月
- 80) 新野秀人, 日笠哲, 松岡龍雄, 藤田秀和, 竹林実, 堀口淳: 急性器質製脳症候群を呈した血球貪食症候群の症例. 第 30 回日本心身医学会中国・四国地方会. 出雲, 2006 年 11 月
- 81) 新野秀人, 野間陽子, 日笠哲, 松岡龍雄, 山本修, 竹林実, 堀口淳: がん診断の契機となった低活動型せん妄の 2 例. 第 30 回日本心身医学会中国・四国地方会. 出雲, 2006 年 11 月
- 82) 堀口淳, 川向哲也, 宇谷悦子, 宮岡剛, 稲垣卓司, 妹尾晴夫, 清水予旨子, 柴田昌洋, 山森周子, 藤本晶彦, 西松央一, 國重和彦: 精神科領域における消化器症状に対するガスモチン[®] 併用の有用性の検討. 第 30 回日本心身医学会中国・四国地方会. 出雲, 2006 年 11 月
- 83) 堀口淳: 身体表現性障害の治療と診断をめぐって. 第 5 回不安とうつのリエゾン治療研究会(講演). 郡山, 2006 年 11 月
- 84) 堀口淳: 地域における統合失調症の現状と臨床的課題. 島根県薬剤師会学術講演会(講演). 出雲, 2006 年 11 月

- 85) 堀口淳：認知症の予防について．雲南市介護予防教室（講演）．雲南，2006年11月
- 86) 宮岡剛，安川玲，安田英彰，林田麻衣子，川向哲也，宇谷悦子，岡崎四方，新野秀人，稲垣卓司，堀口淳：多発性脳海綿状血管腫を合併した統合失調症の1症例．第11回日本神経精神医学会．神戸，2006年11月
- 87) 堀口淳：器質性幻覚・妄想 S2-3 症状性ないし中毒性の幻覚妄想～最近の症例から～．第11回日本神経精神医学会（シンポジウム）．神戸，2006年11月9-10日
- 88) 安田英彰，宮岡剛，新野秀人，稲垣卓司，三原卓巳，岡崎四方，川向哲也，宇谷悦子，堀口淳：両側後頭葉出血性脳梗塞により Anton 症候群を呈した1症例．第47回中国・四国精神神経学会．下関，2006年11月
- 89) 稲垣卓司，岡崎四方，宮岡剛，新野秀人，堀口淳：島根県内の単科精神病院におけるがんを合併する統合失調症患者状況について．第19回日本総合病院精神医学会総会．宇都宮，2006年12月
- 90) 稲垣卓司：発達障害について．事例検討会 松江地区養護教諭対象（松江女子高校開催）（講演）．松江，2006年12月
- 91) 稲垣卓司：発達障害について．事例検討会 松江地区養護教諭対象（松江南高校宍道分校開催）（講演）．松江，2006年12月